



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 岩手銀行
コード番号 8345 URL <https://www.iwatebank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 岩山 徹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 (氏名) 小原 透 TEL 019-623-1111
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	32,154	14.4	5,218	17.0	3,385	35.1
2023年3月期第3四半期	37,605	13.0	6,290	15.0	5,221	12.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 8,454百万円 (%) 2023年3月期第3四半期 13,925百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	196.60	195.61
2023年3月期第3四半期	301.19	299.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,799,104	191,463	5.0
2023年3月期	3,820,134	185,228	4.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 191,243百万円 2023年3月期 185,026百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		45.00		45.00	90.00
2024年3月期		40.00			
2024年3月期(予想)				40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	2.4	4,300	20.0	252.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	18,497,786 株	2023年3月期	18,497,786 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,440,943 株	2023年3月期	1,148,146 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	17,219,846 株	2023年3月期3Q	17,337,151 株

(注) 期末自己株式数には、E S O P信託が保有する当行株式数(2024年3月期3Q305,900株)を含めております。

また、期中平均株式数(四半期累計)を算定するにあたり、E S O P信託が保有する当行株式の期中平均株式数(2024年3月期3Q138,831株)を控除する自己株式数を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業的前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

※ [説明資料] 2024年3月期第3四半期決算の概要

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の経営成績につきましては、経常収益は、資金運用収益や役員取引等収益は増加しましたが、国債等債券売却益などのその他業務収益や株式等売却益などのその他経常収益が減少したことなどから、前年同期比 54 億 51 百万円減の 321 億 54 百万円となりました。

経常費用は、営業経費が増加した一方で、国債等債券売却損などのその他業務費用が減少したことから、前年同期比 43 億 79 百万円減の 269 億 35 百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比 10 億 72 百万円減の 52 億 18 百万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失や税金費用が増加したことなどから、同 18 億 36 百万円減の 33 億 85 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期の財政状態につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は、個人預金および法人預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比 20 億円増加し 3 兆 4,349 億円となりました。

貸出金は、法人向け貸出や個人向け貸出が増加したことから、前連結会計年度末比 597 億円増加し 2 兆 705 億円となりました。

有価証券は、短期社債等の残高が増加したことなどから、前連結会計年度末比 952 億円増加し 1 兆 1,684 億円となりました。

(3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明

2023 年 11 月 13 日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
現金預け金	647,034	358,005
コールローン及び買入手形	—	118,000
買入金銭債権	5,121	4,683
金銭の信託	10,700	5,781
有価証券	1,073,191	1,168,488
貸出金	2,010,807	2,070,538
外国為替	2,860	2,655
その他資産	54,205	57,160
有形固定資産	14,799	14,189
無形固定資産	1,917	1,790
退職給付に係る資産	6,803	7,417
繰延税金資産	2,318	173
支払承諾見返	4,365	4,256
貸倒引当金	△13,991	△14,033
資産の部合計	3,820,134	3,799,104
負債の部		
預金	3,184,537	3,259,611
譲渡性預金	248,326	175,350
借入金	172,528	145,947
外国為替	14	39
その他負債	23,769	20,567
役員賞与引当金	20	27
退職給付に係る負債	842	968
役員退職慰労引当金	13	17
睡眠預金払戻損失引当金	200	152
偶発損失引当金	271	278
繰延税金負債	18	424
支払承諾	4,365	4,256
負債の部合計	3,634,906	3,607,641
純資産の部		
資本金	12,089	12,089
資本剰余金	5,666	5,666
利益剰余金	165,224	167,115
自己株式	△4,200	△4,942
株主資本合計	178,780	179,928
その他有価証券評価差額金	8,762	12,536
繰延ヘッジ損益	△1,146	△1
退職給付に係る調整累計額	△1,370	△1,220
その他の包括利益累計額合計	6,245	11,314
新株予約権	202	220
純資産の部合計	185,228	191,463
負債及び純資産の部合計	3,820,134	3,799,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
経常収益	37,605	32,154
資金運用収益	20,161	21,273
(うち貸出金利息)	12,995	13,584
(うち有価証券利息配当金)	6,874	7,496
役務取引等収益	6,934	7,190
その他業務収益	4,792	3,176
その他経常収益	5,716	513
経常費用	31,314	26,935
資金調達費用	544	449
(うち預金利息)	100	72
役務取引等費用	2,597	2,674
その他業務費用	9,697	4,609
営業経費	18,096	18,473
その他経常費用	378	728
経常利益	6,290	5,218
特別利益	100	97
固定資産処分益	100	97
特別損失	40	181
固定資産処分損	34	113
減損損失	6	67
税金等調整前四半期純利益	6,349	5,134
法人税、住民税及び事業税	1,438	1,388
法人税等調整額	△310	360
法人税等合計	1,128	1,749
四半期純利益	5,221	3,385
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,221	3,385

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,221	3,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,219	3,774
繰延ヘッジ損益	1,970	1,144
退職給付に係る調整額	100	150
その他の包括利益合計	△19,147	5,069
四半期包括利益	△13,925	8,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,925	8,454

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当行は、「従業員持株会信託型E S O P」を導入しており、当該信託が、当第3四半期連結累計期間において、自己株式328千株の取得を行っております。この結果、自己株式が742百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は4,942百万円となっております。

1. 損益の状況【連結】

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期		前年同期比	2023年3月期 第3四半期
経常収益	32,154	△	5,451	37,605
資金運用収益	21,273		1,112	20,161
うち貸出金利息	13,584		589	12,995
うち有価証券利息配当金	7,496		622	6,874
役務取引等収益	7,190		256	6,934
その他業務収益	3,176	△	1,616	4,792
その他経常収益	513	△	5,203	5,716
経常費用	26,935	△	4,379	31,314
資金調達費用	449	△	95	544
うち預金利息	72	△	28	100
役務取引等費用	2,674		77	2,597
その他業務費用	4,609	△	5,088	9,697
営業経費	18,473		377	18,096
その他経常費用	728		350	378
経常利益	5,218	△	1,072	6,290
特別損益	△ 83	△	142	59
税金等調整前四半期純利益	5,134	△	1,215	6,349
法人税等合計	1,749		621	1,128
四半期純利益	3,385	△	1,836	5,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,385	△	1,836	5,221

<連結> ※増減は前年同期比

【経常収益】321億円（△54億円）

➤ 資金運用収益や役務取引等収益は増加しましたが、国債等債券売却益などのその他業務収益や株式等売却益などのその他経常収益が減少したことから経常収益は減少しました。

【経常費用】269億円（△43億円）

➤ 営業経費が増加した一方で、国債等債券売却損などのその他業務費用が減少したことから経常費用は減少しました。

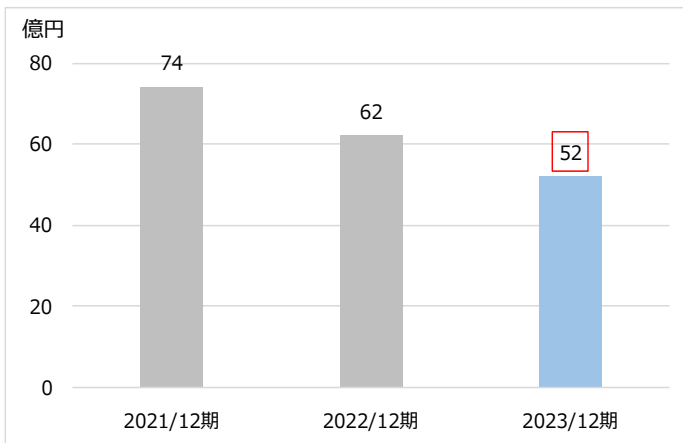
【経常利益】52億円（△10億円）

➤ 上記要因の結果、経常利益は減少しました。

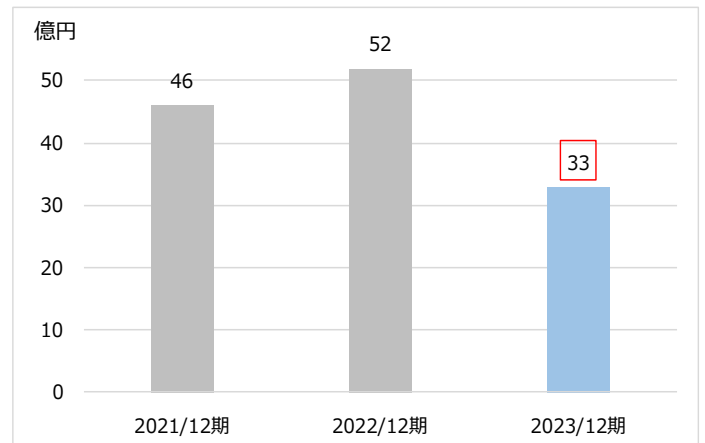
【親会社株主に帰属する四半期純利益】**33億円（△18億円）**

➤ 上記要因に加え、特別損益の減少や法人税等が増加したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少しました。

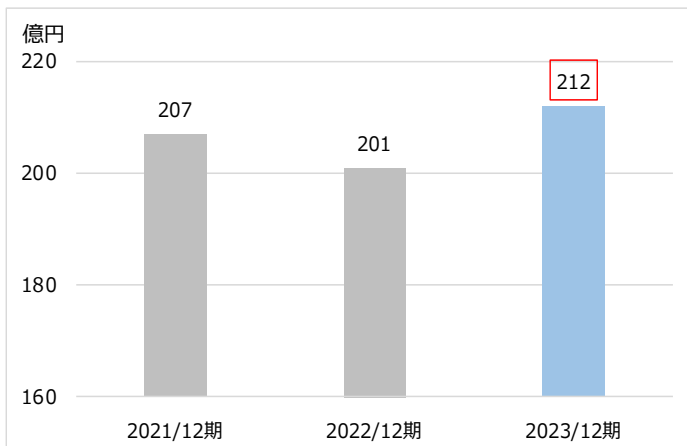
経常利益の推移



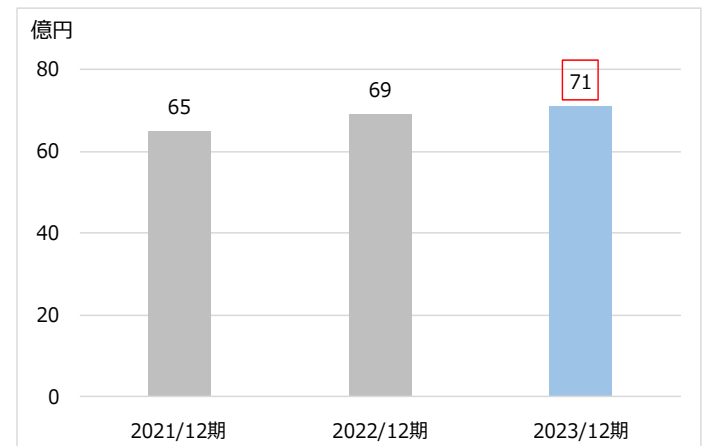
親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



資金運用収益の推移



役務取引等収益の推移



2. 損益の状況【単体】

(単位：百万円)

	2024年3月期		2023年3月期
	第3四半期	前年同期比	第3四半期
経常収益	28,431	△ 4,959	33,390
業務粗利益	22,862	4,799	18,063
資金利益	21,146	1,007	20,139
うち貸出金利息	13,601	593	13,008
うち有価証券利息配当金	7,799	417	7,382
役員取引等利益	3,434	229	3,205
その他業務利益	△ 1,718	3,564	△ 5,282
うち国債等債券損益	△ 745	4,133	△ 4,878
経費 (△)	17,187	299	16,888
うち人件費	9,371	240	9,131
うち物件費	6,807	61	6,746
実質業務純益 ※1	5,675	4,501	1,174
コア業務純益 ※2	6,420	367	6,053
除く投資信託解約損益	6,131	476	5,655
一般貸倒引当金繰入額 (△) ①	△ 356	△ 356	-
業務純益	6,031	4,857	1,174
臨時損益	△ 848	△ 5,761	4,913
うち不良債権処理額 (△) ②	874	737	137
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	△ 54	54
うち株式等関係損益	△ 92	△ 4,932	4,840
経常利益	5,183	△ 905	6,088
特別損益	△ 83	△ 142	59
税引前四半期純利益	5,099	△ 1,049	6,148
法人税等合計	1,651	691	960
四半期純利益	3,447	△ 1,741	5,188
与信費用 (①+②+③)	518	435	83

<単体> ※増減は前年同期比

【経常収益】284億円 (△49億円)

▶ 国債等債券売却益や株式等売却益が減少したことなどにより経常収益は減少しました。

【業務粗利益】228億円 (+47億円)

▶ 資金利益が増加したことに加え、役員取引等利益やその他業務利益も増加したことから業務粗利益は増加しました。

【経費】171億円 (+2億円)

▶ 人件費が増加したことなどにより経費は増加しました。

【実質業務純益】56億円 (+45億円)

▶ 業務粗利益が増加したことなどにより、実質業務純益は増加しました。

【経常利益】51億円 (△9億円)

▶ 実質業務純益は増加したものの、株式等関係損益が減少したことなどにより、経常利益は減少しました。

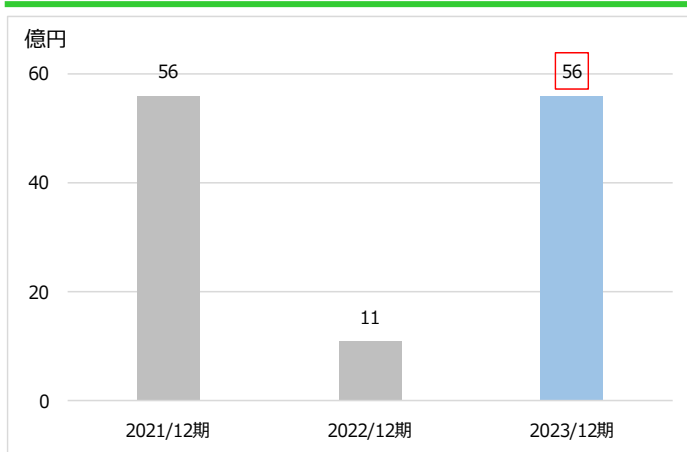
【四半期純利益】34億円 (△17億円)

▶ 上記要因に加え、特別損益の減少や法人税等が増加したことなどから、四半期純利益は減少しました。

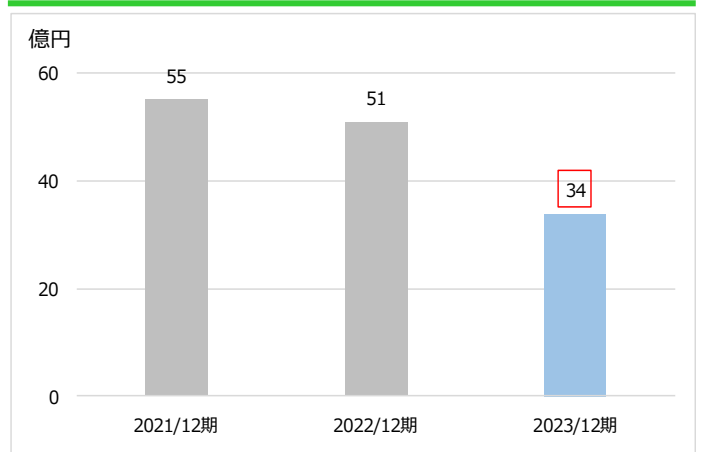
※1 実質業務純益 = 業務粗利益 (資金利益 + 役員取引等利益 + その他業務利益) - 経費

※2 コア業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 国債等債券損益

実質業務純益の推移



四半期純利益の推移



3. 貸出金【単体】

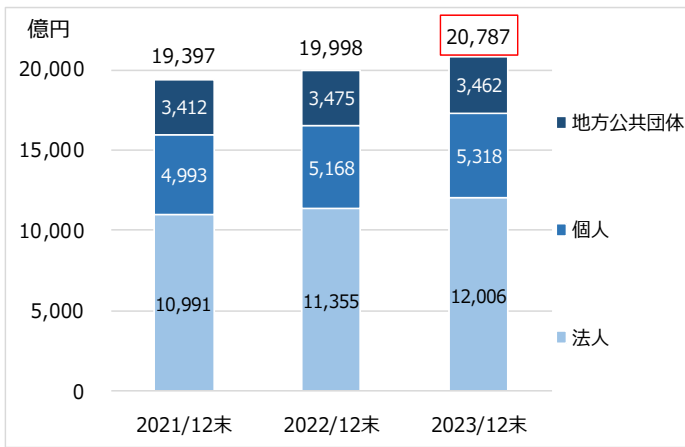
貸出金の状況

- 貸出金残高は、法人および個人向け貸出が増加したことから、前年同期比789億円（3.9%）増加の2兆787億円となりました。
- また、平均残高は、同781億円（3.9%）増加の2兆465億円となりました。

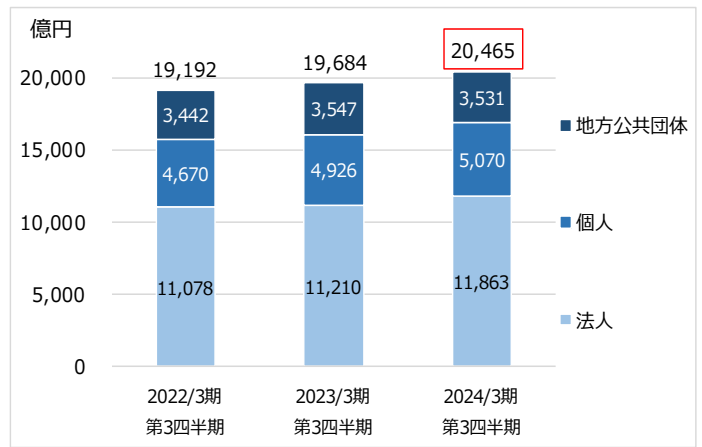
(単位：億円、%)

	2021年	2022年	2023年		2023年
	12月末	12月末	12月末	前年同期比増減額	
貸出金未残	19,397	19,998	20,787	789	3.9
貸出金平残	19,192	19,684	20,465	781	3.9
					2023年 3月末
					20,182
					19,767

貸出金未残の推移

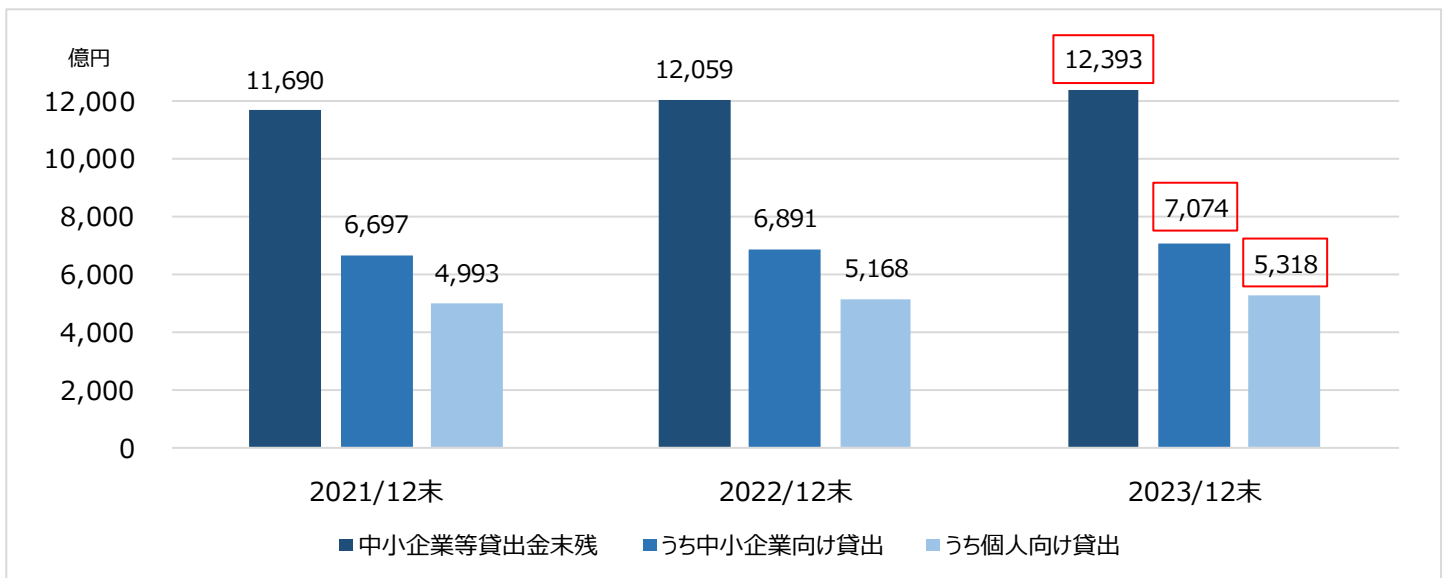


貸出金平残(第3四半期累計)の推移



中小企業等貸出金の状況

- 中小企業等貸出金残高は、前年同期比334億円増加の1兆2,393億円となりました。
- このうち、中小企業向け貸出金残高は、前年同期比183億円増加の7,074億円、個人向け貸出金残高は、同150億円増加の5,318億円となりました。



4. 預金等・預り資産【単体】

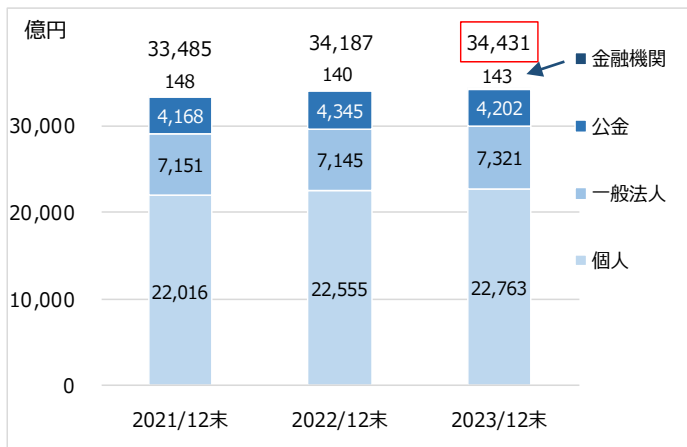
預金等(譲渡性預金を含む)の状況

- 預金等残高は、個人預金や法人預金が増加したことなどから、前年同期比244億円（0.7%）増加の3兆4,431億円となりました。
- また、平均残高は、同325億円（0.9%）増加の3兆4,521億円となりました。

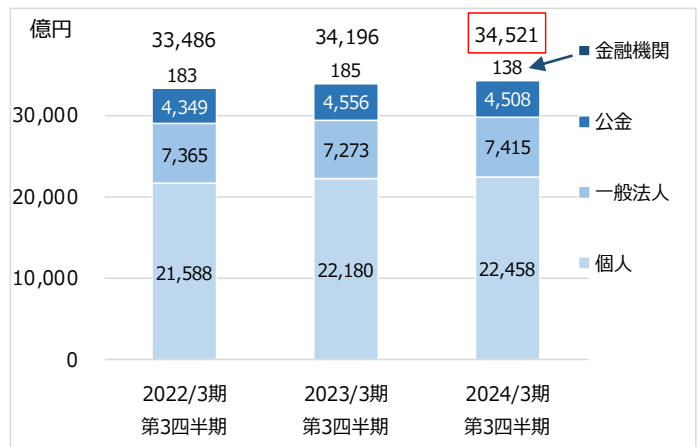
(単位：億円、%)

	2021年	2022年	2023年		2023年 3月末
	12月末	12月末	12月末	前年同期比増減額	
預金等末残	33,485	34,187	34,431	244	0.7
預金等平残	33,486	34,196	34,521	325	0.9
					34,415
					34,044

預金等末残の推移



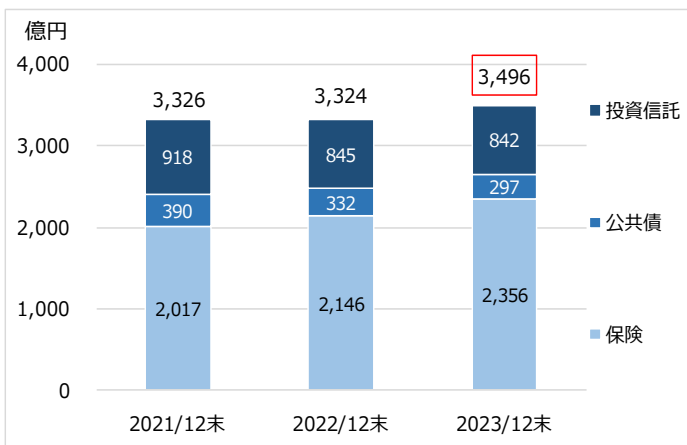
預金等平残(第3四半期累計)の推移



預り資産の状況

- 預り資産の残高は、保険の増加などにより前年同期比172億円増加の3,496億円となりました。
- また、期中販売額は、531億円となり、同35億円増加しました。

預り資産残高の推移



預り資産販売額

(単位：億円、%)

	2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	販売合計	531	35
投資信託	219	9	4.2
公共債	69	35	102.9
保険	243	△	△
		9	3.5

5. 有価証券【単体】

有価証券の状況

- 有価証券残高は、債券の運用残高が減少したことなどにより、前年同期比16億円（0.1%）減少の1兆1,713億円となりました。
- また、平均残高は、同130億円（1.1%）減少の1兆1,669億円となりました。

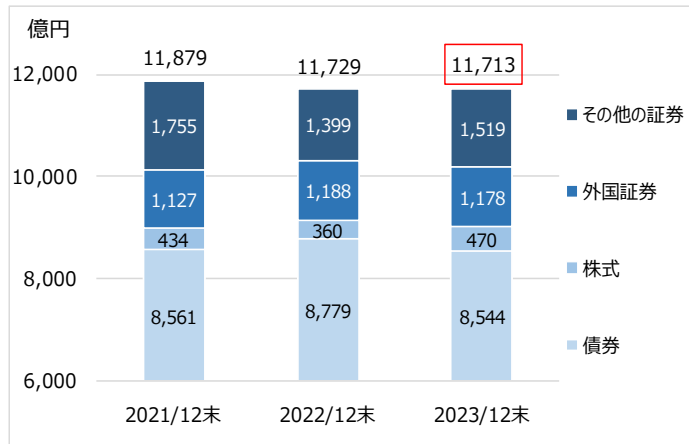
(単位：億円、%)

	2021年 12月末	2022年 12月末	2023年 12月末	前年同期比		2023年3月末
				増減額	増減率	
有価証券末残	11,879	11,729	11,713	△ 16	△ 0.1	10,761
有価証券平残	11,806	11,799	11,669	△ 130	△ 1.1	11,772

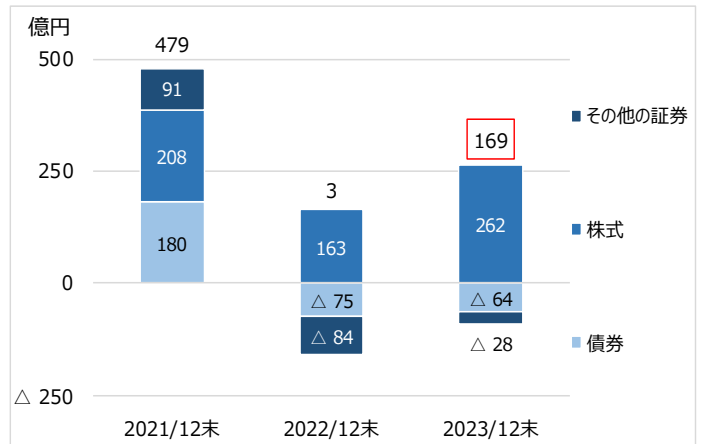
有価証券の評価差額(含み益)の状況

- 有価証券の評価差額（含み益）は、前年同期比166億円増加し、169億円（うち株式262億円、債券△64億円、投資信託等△28億円）となりました。

有価証券末残の推移



有価証券の評価差額(含み益)の状況



有価証券関係損益

- 有価証券関係損益は、国債等債券売却損や償還損が減少したものの、国債等債券売却益や株式等売却益が減少したことなどから、前年同期比8億円減少の△8億円となりました。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	2023年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	前年同期比		2023年3月期
				増減額	増減率	
有価証券関係損益 A+B	984	△ 37	△ 837	△ 800	△ 473	
国債等債券損益 A	△ 279	△ 4,878	△ 745	4,133	△ 5,447	
売却益	25	1,181	-	1,181	1,181	
償還益	-	-	-	-	-	
売却損 (△)	8	1,092	476	△ 616	1,661	
償還損 (△)	297	4,967	268	△ 4,699	4,967	
償却 (△)	-	-	-	-	-	
株式等損益 B	1,264	4,840	△ 92	△ 4,932	4,973	
売却益	1,455	5,007	37	△ 4,970	5,191	
売却損 (△)	191	130	123	△ 7	184	
償却 (△)	0	35	6	△ 29	32	

6. 与信費用・金融再生法開示債権【単体】

与信費用の状況

- 与信費用は、個別貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同期比4億円増加の5億円となりました。

(単位：百万円)

	2022年3月末 第3四半期 (9ヵ月間)	2023年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)	2024年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)		2023年3月期
			前年同期比		
与信費用	△ 1,002	83	518	435	1,165
一般貸倒引当金繰入額	-	-	△ 356	△ 356	214
不良債権処理額	75	137	874	737	951
貸出金償却	0	-	-	-	-
個別貸倒引当金繰入額	-	-	787	787	756
偶発損失引当金繰入額	65	120	86	△ 34	177
債権売却損	9	17	-	△ 17	18
貸倒引当金戻入益(△)	1,077	54	-	△ 54	-
偶発損失引当金戻入益(△)	-	-	-	-	-

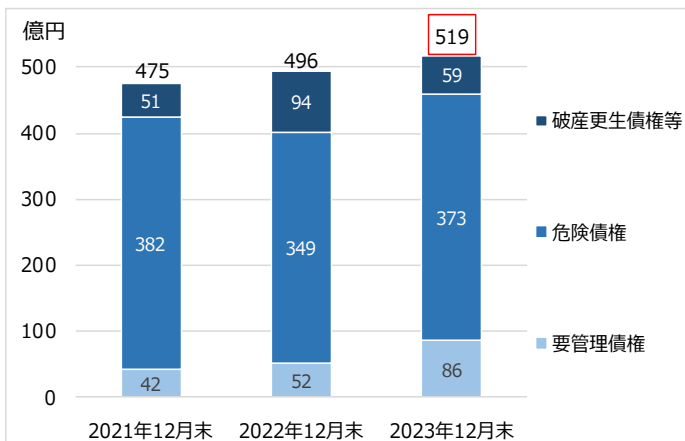
金融再生法開示債権の状況

- 金融再生法開示債権は、前年同期比23億円増加の519億円となりました。
- また、不良債権比率は、前年同期比0.01%上昇し、2.46%となりました。

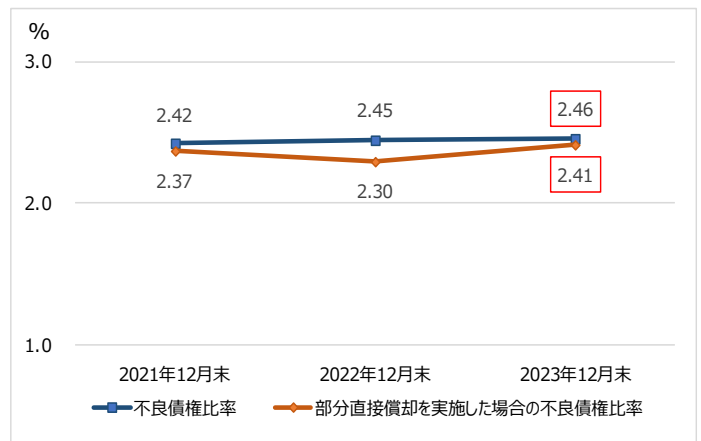
(単位：億円)

	2021年12月末	2022年12月末	2023年12月末		2023年3月末
			前年同期比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	51	94	59	△ 35	61
危険債権	382	349	373	24	338
要管理債権	42	52	86	34	57
合計	475	496	519	23	457

金融再生法開示債権の推移



総与信額に対する比率の推移



7. 自己資本比率【連結・単体】

自己資本比率の状況

- 2023年12月末時点の自己資本比率（国内基準）については、現在算定中であり、確定次第、開示する予定であります。